

檜原社協だより

発行
檜原社会福祉協議会
令和元年10月
(第7号)

令和元年度 役員名簿

役職	氏名
会長	風間 幸晴
副会長	神田 孝則
	増田 幸治
	小石 敦子
	古勝 靖子
	木村 厚
会計	中路 和美
監事	岡野 輝美
	國枝 展雄
高齢者福祉委員会	
委員長	小石 敦子
副委員長	古勝 靖子
児童福祉委員会	
委員長	松島季代子
副委員長	橋本 典子
障がい者福祉委員会	
委員長	木村 峰雄
副委員長	山本登代子 吉田 麗子
ご近所福祉委員会	
委員長	風間 幸晴
副委員長	横田 一之

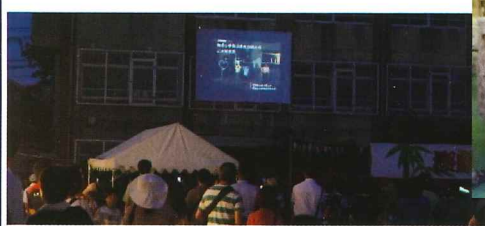
障がい者福祉委員会は、レクリエーションや学習会施設見学、救命講習会などを実施します。



6月30日(日)
チキンラーメンの
手作り体験
28名参加
カップヌードルミュージアム
大阪池田



8月3日(土)
恒例の「檜原夏まつり」が
開催され、多くの来場者で
賑わい、社協は模擬店で飲み物
販売を担当しました



高齢者福祉委員会の事業計画

(1) すこやかサロン活動内容

年月	全体行事	檜原保育園 第1火曜日 10:00~	榑田集会所 第2月曜日 14:00~	公会堂 第3木曜日 10:00~	積慶園 第4水曜日 10:00~	阪住集会所 第4木曜日 10:00~
元年	春の 食事会	竹ふみ	春の野の花 を活ける	社協の紹介	消防署から のお話	脳トレ
4	スカイク ロス大会	介護予防	食事会	お楽しみ会 春の歌を歌う	お口の健康の 話 リズム体操	脳トレ
5		子どもとの 交流	食中毒につ いてのお話	小物づくり	風鈴作り	食事会
6		介護予防の お話	交通安全の お話	ハンドベル練 習	子どもとの交 流	小物作り
7		休み	休み	休み	休み	休み
8		介護予防	リンパ体操	お楽しみ会	腹話術	脳トレ
9		スカイク ロス大会	子どもとの 交流	秋の野の花 を活ける	ハロウィン 仮装祭り	筋トレ
10	秋の 食事会	介護予防	食事会	千支ちぎり絵	千支作り	小物づくり
11		子どもとの 交流	干支づくり	お正月の寄せ 植え	クリスマス会	クリスマス会
12		新年会	お口の健康の 話	みんなの発表会	新年会	新年会
2年		介護予防	折り紙	おひな祭り	手作り	筋トレ
1		休み	リンパ体操	休み	休み	休み
2						
3						

(2) 居場所サロン(スカイクロス)

健康増進、健康維持のため適度な運動と、人との交流(仲間づくり)活動

スカイクロスは檜原史跡公園、阪急梅園公園2ヶ所で行います

場 所	日 程	時 間
檜原史跡公園 (ふれあいルーム絆)	毎月 第1、第3 水曜日	午前 9:00~12:00
	第2、第4 月曜日	
阪急梅園公園	毎月 第2、第4 水曜日	午後 1:00~3:00

(3) ふとん丸洗い事業

対象者: 独居者、要介護者、高齢者夫婦等(2人合せて155歳以上)
実施日: 9月/18日 20日 21日

(4) 友愛訪問

毎月一回

(5) 相談事業(檜原すこやかサロン5ヶ所)

*活動内容日程などは、毎月回覧でお知らせしています

「ご近所福祉委員会」は、見守り支援活動(高齢者や障がい者などで配慮が必要な方を、近隣住民が見守り、声かけなどを行う)及びくらしサポート活動(要配慮者の方に日常生活支援を行う)くらしサポートは有償で家具の移動、庭の掃除、買物同行、電球交換などで、活動者1人につき、1回(2時間以内)300円です。お問合せは、専用電話090-7750-8434まで。なお、今年度は高齢者の要配慮者マップを作成します。



檜原社会福祉協議会は、五月十八日(土)に総会を開催し、参加者七十四名のもと令和元年度の事業計画等が承認され、現在計画に
もとづき活動しています。

檜原社協の 活動予定

児童福祉委員会の事業計画

ゼロ歳児さんとママのための子育てサロン
「じゅげむ」

毎月第二水曜日 午前 10:30~12:00 まで
檜原児童館 2階にて
ママと赤ちゃんが楽しくホッとできる居場所づくりのため、毎月楽しくなる内容で開催しています。

令和元年度じゅげむ予定表

月	日	内容	講師
4月	10日	絵本を楽しもう!	檜原小学校PTA絵本 サークルいっしょの会
5月	8日	お話を聞こう! 赤ちゃんの健康	西京保健センター 保健師さん
6月	12日	歯のおはなし	歯科衛生士さん
7月	10日	お楽しみ会	キッズシアター かみふうせん
8月		~夏休み~ ☆じゅげむはお休みです	
9月	11日	コミュニケーションしよう♪ (ベビーマッサージ)	
10月	9日	みんなで体操しよう♪	助産師 池田容子先生
11月	13日	赤ちゃんの応急手当をマスターしよう!	西京消防署
12月	11日	少し早いクリスマス会	
1月	8日	みんなで遊ぼう♪	
2月	12日	母乳のおはなし~おっぱいだいすき~	助産師 池田容子先生
3月	11日	みんなで手作りしよう	



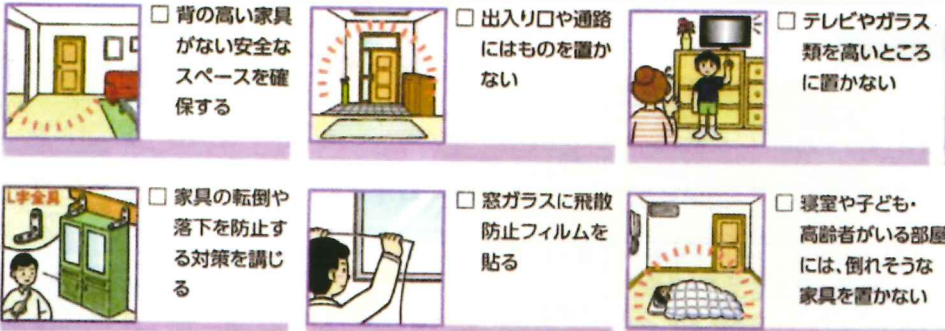
敬老会 9月22日(日)

敬老会は、自治連合会、地域女性会、社会福祉協議会の共催で行われ、70歳以上の招待者213名が参加されました。

あなたは 災害から **命** を守れますか！

家庭（自助）では、日頃から災害に備え自宅家屋の耐震強度の確認、改修・補強、周辺地域の環境から予想される災害の確認、避難場所・避難ルートの確認、幼児や高齢者などの避難に誰が付き添うなどを確認しておくことが大切です。

家の中の安全対策



家庭での備蓄について、京都市は昨年１１月に市民アンケートを実施し、食料や飲料水、防災用品などでは、「１人３日分以上」１６％、「３日分未満」３３％、「備蓄の予定はない」６％という結果で、若い世代ほど関心が低い傾向にあり、備蓄しない理由（複数回答）では、「賞味期限の確認や買い直しが大変」４８％、「面倒」４０％、何を準備したらよいかわからない」２５％、「災害があまり起こらない地域だから」１９％と続いた。

食品は、普段から食べ慣れている、日持ちのする食品を多めに買い置きし、食べながら常に新しく保つ方法「ローリングストック」を勧めている。

地域（共助）では、災害弱者といわれる要介護者や障がい者、乳幼児など多く居住されています。大規模地震が発生した時に自治会組織を通じて安否確認や大雨による土砂災害、水害に対する避難指示が発令された場合も災害弱者への声かけなど安全に避難できるよう支援することが求められます。なお、自治会未加入者も自らの安全のため自治会加入をお勧めします。

わが国は、毎年のように地震や台風が発生し、昨年も大阪北部地震、西日本豪雨、北海道地震、台風二十一号など大きな自然災害があり、先月には台風十五号により千葉県を中心に大規模な停電が発生して、住民生活に多大な影響を及ぼしました。

こうした災害に対して、自らの命を守るため、家庭Ⅱ自助、地域Ⅱ共助、行政Ⅱ公助の役割を理解し、減災対策を日頃から取り組むことが大切ではないのでしょうか。

備蓄におすすめの食品

- ☐ 無洗米、シリアル、餅
- ☐ カップラーメン、乾麺
- ☐ レトルトのカレーや野菜スープ
- ☐ フリーズドライのスープ
- ☐ 缶詰
(肉・魚・野菜・おかず・フルーツ)
- ☐ 常温で日持ちする野菜
(たまねぎ、じゃがいもなど)
- ☐ 乾物
(のり、わかめ、かつおぶしなど)
- ☐ 野菜や果物のジュース
- ☐ お菓子類
(チョコレート、ビスケット、饅頭など)
- ☐ 調味料 など

カセットコンロと
ガスボンベは絶対必要

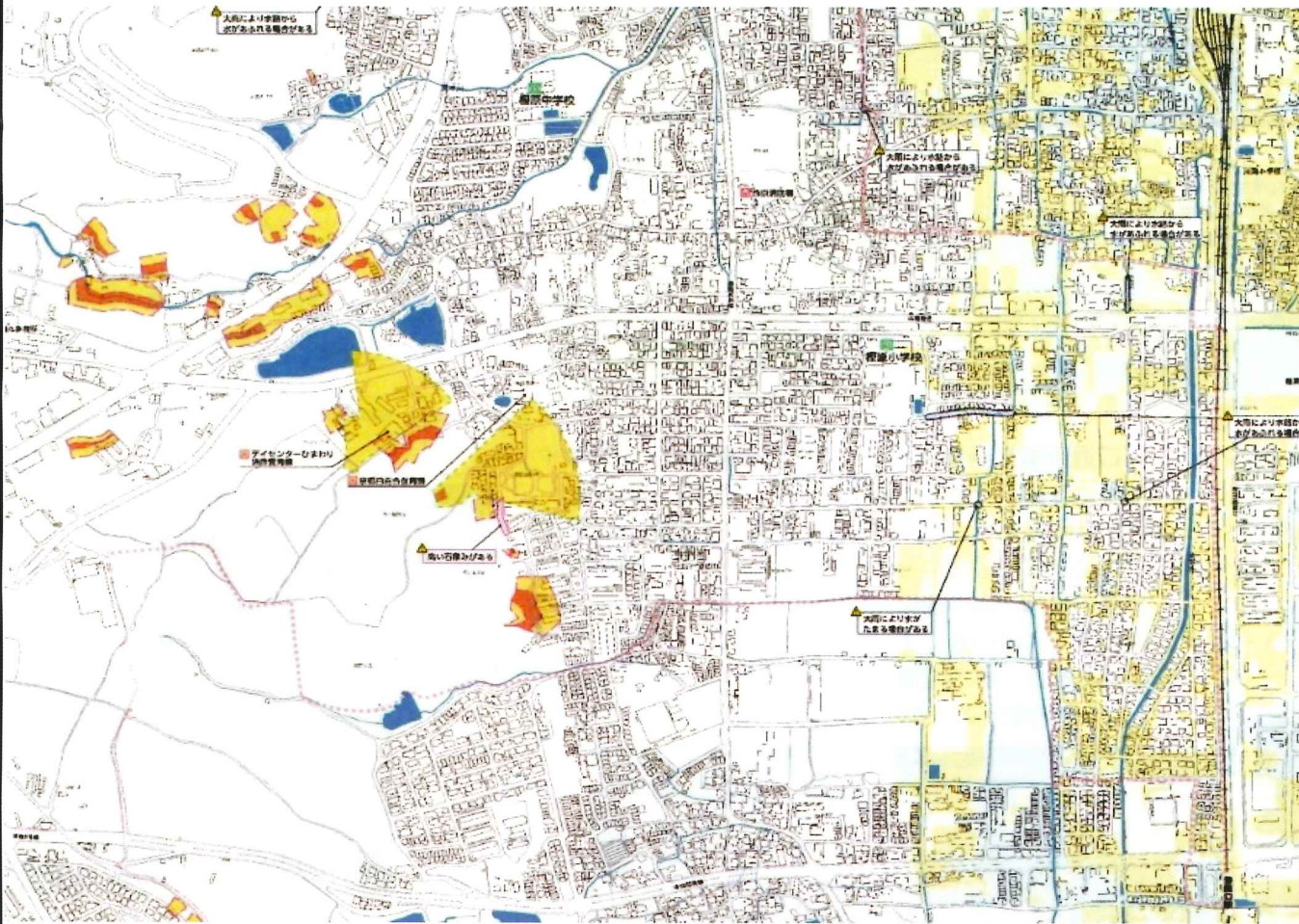
加熱できれば、備蓄食料の種類や料理の幅も広がる。セットで備蓄しよう。ポンベは強火で1本1時間が目安。

災害時の調理の ポイントは

フライパンにホイルを敷いて調理、皿にラップをかぶせて使う、調理用はさみやピーラーで調理してまな板を使わない、ポリ袋に食材と調味料を入れて味付けする、などで洗いを減らす。手が洗えない場合は、ウエットティッシュや使い捨て手袋を活用すると衛生的。

水の備蓄は大切！

飲料水は大人1人1日3ℓが目安。7日分だとかなりの量になるが、必ず備蓄しよう。スーパーで買える2ℓ入りのものでOK。



行政(公助)は、住民の安心・安全を守るため、京都府内の各自治体では、防災行政を主要な政策として取組まれています。京都市の避難所設置は主に小中学校の教育施設のみで、大規模災害時の檜原学区民14,600人の避難は困難であります。また、土砂災害などの避難情報は学区単位で発令されており、他の自治体同様きめ細かい情報提供が求められています。(上の図の赤いところが土砂災害危険区域)

平成に発生した災害（平成7年阪神淡路大震災から昨年の北海道地震までの14件）で避難生活中などに亡くなり「災害関連死」と認定された人は、4,983人とされている。直接死（29,537人）ではなく避難によるストレスや持病悪化、感染症、疲労などが原因です。今後人権に配慮した避難所環境の整備が急がれる。



防火対策は万全こ！

住宅火災による死者のうち六十五歳以上の高齢者の割合は、他の年代の約3倍と言われています。榎原学区では、今年二月と六月に火災が発生しています。平成二十年六月消防法が改正され、住宅用火災報知機の設置が義務化されました。

檜原学区では、平成二十年に自主防災会で設置を奨励し、今年で十年となります。交換の時期を迎えています。設置場所は、台所、寝室、階段となっています。万が一の火災に早く気づき知らせるこの報知機は、焼死者防止、早期発見の決め手です。

現在、治水対策として京都府が進めている桂川右岸地域の雨水貯留施設「いろは呑龍トンネル」事業は2023年が完成予定で、樫原学区東部の阪急住宅周辺では、大雨による寺戸川の氾濫が大幅に軽減されることが期待されています。

自転車は車両です！！
学区民の皆様は、率先して交通
マナーを守り、安全な地域づくり
にご協力ください。